



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 日精樹脂工業株式会社
コード番号 6293 URL <http://www.nisseijushi.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 依田 穂積

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 宮下 浩

TEL 0268-82-3000

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	12,058	8.3	868	47.9	1,121	73.6	809	33.5
2022年3月期第1四半期	11,138	26.0	587		646	273.6	1,216	

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 2,361百万円 (19.7%) 2022年3月期第1四半期 1,973百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	41.49	40.65
2022年3月期第1四半期	62.38	61.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	73,180	39,006	52.6
2022年3月期	68,852	36,938	52.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 38,507百万円 2022年3月期 36,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		15.00		15.00	30.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		20.00		15.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2023年3月期第2四半期期末配当金の内訳 普通配当金15.00円 創業75周年記念配当金5.00円

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	23,000	10.5	1,380	12.8	1,450	21.0	900	43.2	46.15
通期	51,000	4.7	3,000	16.4	3,100	5.4	1,900	29.1	97.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	22,272,000 株	2022年3月期	22,272,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,768,705 株	2022年3月期	2,768,705 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	19,503,295 株	2022年3月期1Q	19,503,357 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症により停滞した経済活動が回復基調にありましたが、長期化するウクライナ情勢の悪化および資源価格の高騰等により先行き不透明な状況であります。わが国経済におきましては、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の拡大等により経済活動は回復基調にありましたが、資源価格の高騰および物価上昇等から先行きは不透明であります。

当社グループが属する射出成形機業界におきましては、受注環境は堅調であるものの、半導体等の部材不足により不安定な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、主力である射出成形機売上高が堅調であったこと等から売上高は120億5千8百万円（前年同四半期比8.3%増）となりました。製品別売上高につきましては、射出成形機売上高が93億5千3百万円（前年同四半期比7.8%増）、周辺機器売上高が4億6千6百万円（同2.2%増）、営業部品の売上高が17億8千4百万円（同16.3%増）、金型等の売上高が4億5千4百万円（同3.3%減）となりました。

利益面につきましては、営業利益は8億6千8百万円（前年同四半期比47.9%増）、経常利益は11億2千1百万円（同73.6%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は8億9百万円（前年同四半期比33.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

自動車関連を中心に需要が回復基調であったこと等から売上高（外部売上高）は38億1千1百万円（前年同四半期比4.5%増）、セグメント利益は10億3千1百万円（同124.8%増）となりました。

②欧米地域

新型コロナウイルス感染症により停滞していた経済活動が再開したこと等から、売上高（外部売上高）は56億2千4百万円（前年同四半期比23.6%増）、セグメント利益は1億9千8百万円（同22.2%増）となりました。

③アジア地域

自動車関連を中心に需要が堅調に推移しましたが、中国における厳格な新型コロナウイルス政策により経済活動が停滞したこと等により、売上高（外部売上高）は26億2千2百万円（前年同四半期比10.8%減）、セグメント利益は5千1百万円（同51.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比べ43億2千8百万円増加し、731億8千万円となりました。主たる増加要因として現金及び預金の増加13億2千万円および商品及び製品の増加23億6千1百万円であり、主たる減少要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少9億2千9百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ22億6千万円増加し、341億7千4百万円となりました。主たる増加要因は、長期借入金の増加11億5千8百万円および短期借入金の増加9億3千万円であり、主たる減少要因は、支払手形及び買掛金の減少2億7百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ20億6千7百万円増加し、390億6百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想および当第2四半期連結累計期間の業績予想について、2022年5月13日公表の業績予想値から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,781	12,102
受取手形、売掛金及び契約資産	10,606	9,677
電子記録債権	638	770
商品及び製品	9,419	11,780
仕掛品	4,413	5,408
原材料及び貯蔵品	11,672	11,613
未収入金	2,390	1,785
その他	1,380	1,514
貸倒引当金	△469	△509
流動資産合計	50,834	54,143
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,212	6,307
機械装置及び運搬具（純額）	1,543	1,670
土地	4,625	4,737
その他	1,015	1,567
有形固定資産合計	13,397	14,282
無形固定資産	572	548
投資その他の資産		
投資有価証券	1,939	1,932
その他	2,111	2,274
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	4,048	4,205
固定資産合計	18,018	19,037
資産合計	68,852	73,180

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,252	14,045
短期借入金	433	1,364
1年内返済予定の長期借入金	1,744	1,981
引当金	332	403
その他	5,725	5,738
流動負債合計	22,489	23,534
固定負債		
長期借入金	5,869	7,027
退職給付に係る負債	3,140	3,087
その他	414	524
固定負債合計	9,424	10,640
負債合計	31,913	34,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,362	5,362
資本剰余金	5,334	5,334
利益剰余金	25,944	26,460
自己株式	△1,539	△1,539
株主資本合計	35,102	35,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	711	706
繰延ヘッジ損益	△3	△0
為替換算調整勘定	607	2,165
退職給付に係る調整累計額	18	17
その他の包括利益累計額合計	1,335	2,889
新株予約権	282	282
非支配株主持分	218	215
純資産合計	36,938	39,006
負債純資産合計	68,852	73,180

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	11,138	12,058
売上原価	7,769	8,159
売上総利益	3,368	3,899
販売費及び一般管理費	2,781	3,031
営業利益	587	868
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	38	63
為替差益	87	76
デリバティブ評価益	—	84
その他	55	62
営業外収益合計	189	293
営業外費用		
支払利息	51	29
デリバティブ評価損	65	—
その他	13	10
営業外費用合計	130	40
経常利益	646	1,121
特別利益		
固定資産売却益	1,165	—
特別利益合計	1,165	—
特別損失		
子会社移転費用	63	—
特別退職金	20	—
特別損失合計	83	—
税金等調整前四半期純利益	1,727	1,121
法人税等	513	315
四半期純利益	1,214	805
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,216	809

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,214	805
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71	△5
繰延ヘッジ損益	△0	3
為替換算調整勘定	692	1,558
退職給付に係る調整額	△4	△1
その他の包括利益合計	758	1,555
四半期包括利益	1,973	2,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,978	2,363
非支配株主に係る四半期包括利益	△5	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	3,648	4,549	2,940	11,138
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,986	74	2,662	7,723
計	8,634	4,623	5,602	18,861
セグメント利益	458	162	104	725

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	725
セグメント間取引消去	△138
四半期連結損益計算書の営業利益	587

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米地域	アジア地域	
売上高				
外部顧客への売上高	3,811	5,624	2,622	12,058
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,981	48	2,577	7,607
計	8,792	5,673	5,200	19,666
セグメント利益	1,031	198	51	1,281

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,281
セグメント間取引消去	△412
四半期連結損益計算書の営業利益	868

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。